日々想々

ヘリテージングを楽しむ
～「身田寺内町を歩く～」
鈴木 茂基

レトロな趣きの木造駅舎、ここが歴まち散歩のスタート地点。

JR「身田駅から高田本山（専修寺）と、その門前に古い町並みが残る「「身田寺内町」がまち歩きのコースである。

最近「ヘリテージング」という観光スタイルが広がりを見せている。ヘリテージングとは、遺産を意味するheritageに、ing（進行形）を組み合わせた造語で、「遺産（歴史）を楽しむ観光散歩」といってもいい。

「遺産（ヘリテージ）」は先人から受け継がれた有形・無形のもので、ユネスコの「世界遺産」が有名であるが、ほかにも「日本遺産（文化庁）」、「近代化産業遺産（経済産業省）」、「日本農業遺産（農林水産省）」、「世界かんがい施設遺産（国際かんがい排水委員会）」などがある。

三重県内のものを紹介すると、日本遺産として「斎宮（明和町）」、近代化産業遺産として「旧東洋紡績富田工場・末広橋梁・潮吹き防波堤（四日市市）」と「菅島灯台（鳥羽市）」と「旧三重県立工業学校製図室・赤壁校舎（松阪市）」、日本農業遺産として「鳥羽・志摩の海女漁業と真珠養殖業」と「尾鷲ヒノキ林業」、世界かんがい施設遺産として「南家城川口井水（津市白山町）」と「立梅用水（多気町）」がある。

どれも一度はヘリテージングをしておきたいところである。

さて、一身田駅前の道は関宿から続くかつての伊勢別街道で、この道から分かれて東へまっすぐ歩いたところが寺内町の入口（安楽橋）である。まちの周囲に残された「環濠（かんごう）」は全国的にも珍しく、まさにこの地域の遺産である。

木造建築物では国内5番目の大きさの「御影堂（重要文化財）」はこのまちのシンボルで、屋根側面の大きな三角部分にある妻飾りの意匠は、遠くからでも目を引く。

平成の大修理の時にふだん見られない内部の様子を見せていただいたことがあるが、改めてそれぞれの部材を見ては「すきい」、彫刻を見ては「すごい」と言葉を発してしまう。

年を重ねるにつれておお参りの時間も長くなった気がするが、文化財の宝庫である境内をゆっくりと散策したあと、山門をくぐって寺内町を東に進むのが、毎年1月に営まれる報恩講（お七夜）の時と同じいつものコースである。

へ「釘貫門」を過ぎ石畳を歩き終えたところでちょうど一周である。

逆回りもいいが、この辺が歴まち散歩（観光）の中心となるコースで、まちづくりを期待したいところである。

仲之町通りにはいくつかの町屋が現存しているが、うまく活用されていないのが残念である。

この通りと周辺は景観法の重点地区に指定されており、歴史的まちなみの景観形成を図るため、建築物や工作物の建築や外観変更にあたって一定の基準が設けられている。個人的な負担や規制を伴うものであるが、修景整備に必要な費用について市から補助金が交付されるので積極的に利用したい。

歴史的まちづくりを進めるためには、景観法と合わせて歴史まちづくり法（地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律）を活用すると効果的である。

景観法は地域の景観が保全されるというプラス要因があるが、そのための景観規制を規定する法律であるため、所有者にとってはマイナスのイメージがある。また、地区内に何か動きがないとまちづくりは機能しない。

これに対して、歴史まちづくり法はまちづくりを支援するための方策が織り込まれた法律で、重点区域内の事業には国の補助がつき、予算も計上しやすくなる。歴史的まちづくりを推進するために是非とも取り入れたい法律である。

まだ三重県内では、亀山市（関宿等）・明和町（斎宮跡・伊賀市（上野城下町等）だけであり、次は津市と期待しよう。

帰路、一身田駅を少し越えたところに「窪田の常夜燈」がある。伊勢別街道窪田宿のあったところで、津市内最大の高さ約8・6mの常夜燈を少し遠目に見て、駅前のアンティークな喫茶tayu-tauに入った。

地域に残る「ローカルヘリテージ」を訪ねるのもなかなかいいかもしれない。

さて、次はどこへ行こうか…

列車の時刻まで、しばし「たゆたう気分を愉しむ」としよう。

（コクド鑑定・調査㈱代表取締役社長・不動産鑑定士・ヘリテージマネージャー）

岳風会が安濃津ろまん慰問
津の名所旧跡を詩吟で紹介

日本詩吟学院津岳風会は9日（日）、津市神戸のサービス付き高齢者向け住宅安濃津ろまんを慰問し、利用者約80人を前に会員11人が津の名所旧跡を紹介する詩吟を詠んだ。

詠われたのは「洞津十二景」。偕楽公園、津観音、有造館に関わりのある斉藤拙堂など、津市の旧跡名勝著名人などを12編の詩で紹介している。津市で生まれ育った人には馴染み深い情景ばかりで、会員らの朗々とした歌声に大きな拍手が送られた。

岳風会は全国6万人の会員を擁し、創立55年を迎える歴史ある団体。津岳風会は津市、松阪市、伊勢市を中心に活動している。

vol.112
ナカノ歯科のちょっと気になる情報室
津のまちの歯医者さんからメッセージ

歯の痛み③

【3月24日号から続く】

④噛み合わせ…痛みの原因となっていることが多くあります。一見、素人的にはきれいな歯並びに見えても、専門家から見ると問題という歯並びや噛み合わせの力が正常から外れると痛みが起こるのです。特に歯ぎしりやくいしばりといった悪習慣で歯が擦り減ってしまった場合、適切でないかぶせ物が入った場合に起こりやすくなります。治療は原因の除去ですが、それを書き始めるときりがないので省略です。歯科医師とよく相談して決めてください。

⑤歯の破折…噛み合わせの力が強い人、噛み合わせが悪い場合に神経を取った歯に起こりやすいトラブルです。治療で残せることもありますが、割れ方や割れた場所によっては抜歯しか選択の余地がないこともあります。

他にもいろいろ痛みの原因はありますが、よくおこるのはずこんなところだと感じています。どうしようもないこともありますが、虫歯の痛み、歯茎の炎症は、定期的なチェックとメインテナンスで避けることができるものです。痛みに弱い人ほど定期健診を受けてください！

サイトが新しくなりました
http://www.dc-nakano.jp

中野天子 院長

日曜診療 致します
休診日/月曜・金曜・祝日
津市観音寺町446-68（中野ビル1階）
電話 059-213-7770
FAX 059-213-7767

美杉まごと大集合in名古屋
体験イベント大盛況！
物産販売も人気集める

津市の美杉地域まちづくり推進連絡協議会（今井幹雄会長）は3月19日（日）、名古屋市で初めて美杉地域の物産や観光を本格的に宣伝する地域活性化イベント「美杉まごと大集合in名古屋」を東区東桜二丁目の地下1階「オアシス21銀河の広場」を会場に開いた。約3500人の来場者でにぎわった。

イベントには美杉町内の17の団体と企業が出店。

会場には美杉連山のろし太鼓の音が響き、オープニング。太鼓演奏後に太鼓たたき体験があった。多くの子どもたちが参加し、思い思いに太鼓をたたいて楽しんでいた。木工、こけ玉つくり、アロマテラピーの体験も好評で、終日参加者が途切れることがなかった。

特産品販売ブースでは美杉茶、こんにゃく、味噌、漬物、和菓子などが人気を集め、終了時には商品が完売したブースもあった。

会場内に設置したポスターや、美杉産の杉・桧の展示場では興味深げに見入る姿があった。

美杉の森の妖精みすぎんが登場し、イベントを盛り上げた。子どもたちは大喜びで一緒に記念撮影をしていた。

今井会長は「名古屋で行う地域活性化イベントは今回が初めてでしたが、非常に実のあるものとなりました。今後も機会をとらえて美杉の宣伝に取り組んでいきたい」と力強く話した。

問合せは津市役所美杉総合支所＝電話059（272）8082。

津中央ライオンズクラブ
贈ったソメイヨシノ135本

津中央ライオンズクラブ（辻康次会長、正会員32人）は、環境保全・地域復興事業の一環として津市に桜（ソメイヨシノ）の幼木15本を寄贈した。4日（火）、津偕楽公園で桜の植樹贈呈式が行われ、会員ら18人が参加した。5回目。

同クラブは創立40周年の3年前、桜幼木50本と時計塔、昨年は20本を